

令和4年度第2回山形市少年自然の家運営協議会

日 時 令和5年2月14日(火)
午前10時から

場 所 少年自然の家 研修室

次 第

1 開 会

2 利用団体活動状況視察 山形市立千歳小学校 1. 2学年 141名

村山特別支援学校 5学年 15名

3 教育長あいさつ

4 運営協議会長あいさつ

5 協 議

(1) 令和4年度 事業報告について…………… P 2

(2) 令和4年度 利用状況について…………… P 3

(3) 令和5年度 運営方針(案)について…………… P 4～8

(4) 令和5年度 事業計画(案)について…………… P 9

(5) 令和5年度 利用予定について…………… P 10・11

(6) その他

6 閉 会

少年自然の家運営協議会委員名簿

(敬称略)

| No | 委員名 | ふりがな | 役職等 | 就任 | 規則15条 |
|----|-------|---------------|----------------------------------|------------|-------------------------|
| 1 | 櫻井 順一 | さくらい じゅんいち | 山形市立第二小学校長 | 令和2年5月28日～ | 1号委員 (小中学校長) |
| 2 | 栗田 和真 | くりた かずまさ | 山形市立第八中学校長 | 令和2年5月28日～ | 1号委員 (小中学校長) |
| 3 | 辻原 吉子 | つじはら よしこ | ガールスカウト山形県連盟監事 | 平成31年6月1日～ | 2号委員 (社会教育関係少年団体の役員) |
| 4 | 奥山 竜士 | おくやま りゅうじ | 山形青年会議所監事 | 令和4年4月20日～ | 3号委員 (山形市社会教育委員) |
| 5 | 鹿又 源州 | かのまた げんしゅう | 山形市PTA連合会副会長 | 令和4年6月29日～ | 4号委員 (知識経験を有する者) |
| 6 | 黒沼 末八 | くろぬま すえはち | 双葉を良くする会 | 平成3年6月1日～ | 4号委員 (知識経験を有する者) |
| 7 | 三須 洋子 | みす ようこ | 山形市レクリエーション協会理事 | 平成23年6月1日～ | 4号委員 (知識経験を有する者) |
| 8 | 横倉 明 | よこくら あきら | 日本蝶類科学学会理事 | 平成19年6月1日～ | 4号委員 (知識経験を有する者) |
| 9 | 奥山 健悦 | おくやま けんえつ | 公益財団法人やまがた森林と緑の 推進機構 山形県民の森所長 | 平成3年6月1日～ | 4号委員 (知識経験を有する者) |
| 10 | 齋藤 和夫 | さいとう かずお | 前東北文教大学人間科学部子ども 教育学科特任准教授 | 令和元年6月1日～ | 4号委員 (知識経験を有する者) |

令和4年度 主催事業成果と課題

山形市少年自然の家

| 対象 | No. | 主催事業名 | 募集人員 | ねらい | 方向性 または 成果と課題 | 主な内容 | 期日 |
|-------------|-----|-----------------------------------------|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| I 指導者 | 1 | 夏期利用指導者講習会 中止 書面連絡 [小・中学校教員等] | 該当団体 | 各校の活動プランを、自然の家のねらい及び指導者や子どもの願いを反映したものにするために、実技研修・育成を実現するための活動と支援についての研修・リスクマネジメント研修を行い、指導者の資質向上をめざすとともに、利用団体間の利用調整を行う。 | 今年度の利用指導者講習会は全て中止となり、利用調整については電話でのやりとりで行ったり、研修係がメインとなり調整を行ったりした。本来は利用団体同士で調整していただくことが望ましいので、対面形式で講習会が開催できるようにねばならない。 | 施設見学・実技研修(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント 利用調整・事務手続 | 4月15日(金) 1部 9:00~12:00 2部 14:00~17:00 |
| | 2 | 秋期利用指導者講習会 中止 書面連絡 [小・中学校教員等] | 該当団体 | 各校の活動プランを、自然の家のねらい及び指導者や子どもの願いを反映したものにするために、実技研修・育成を実現するための活動と支援についての研修・リスクマネジメント研修を行い、指導者の資質向上をめざすとともに、利用団体間の利用調整を行う。 | 若手の教員も増え、実技研修の機会の確保や事前研修の充実という意味においても、重要な機会ととらえている。今年度も山形市の初任者研修は日帰りで行われたが、宿泊してこそ研修という部分があるので、施設利用の目的等についても初任の先生方に伝えていくために、この機会を大切にしたい。 | 施設見学・実技研修(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続 | 8月2日(火) 1部 9:00~13:00 2部 14:00~17:00 |
| | 3 | 冬期利用指導者講習会 中止 [小・中学校教員] | 該当団体 | 各校の活動プランを、自然の家のねらい及び指導者や子どもの願いを反映したものにするために、実技研修・育成を実現するための活動と支援についての研修・リスクマネジメント研修を行い、指導者の資質向上をめざすとともに、利用団体間の利用調整を行う。 | 今年度は実施することができなかったが、市内の大学(山大・東北文教大・芸工大)へは、それぞれに担当の方に付いていただき、コロナ禍明けにはすぐに声かけできるように準備を進めている。 | 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続 | 12月2日(金) 14:20~16:50 |
| | 4 | 利用指導者講習会 中止 [子供会等] | 該当団体 | 施設見学や実技研修・研修プログラムについての研修を行い、指導者の資質向上をめざす。 | 今年度は、子ども会活動を実施する団体も少なく、この講習会も中止とした。来年度は、団体のニーズに応じた講習会にするため、午前の部の実技研修と、午後の部の講話及び利用調整に分けて実施したい。 | 施設見学・プログラム体験(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続 | 5月29日(日) 1部 9:00~13:00 2部 13:30~17:00 |
| | 5 | 冬期利用指導者講習会 [子供会等] | 該当団体 | 施設見学や実技研修・研修プログラムについての研修を行い、指導者の資質向上をめざす。 | 事前打ち合わせにおいて、冬の事故等の事例をもとに、リスクマネジメント研修を強化していく。 | 実技研修(選択) リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続 | 各団体個別に実施 |
| | 6 | ボランティア —スタッフセミナー— 中止 1泊2日 [学生・一般] | 大学生 大学院生 | 子ども理解を深め、各事業での具体的な活動を想定しながら研修することにより、ボランティアとしての資質向上を図る。 | 今年度は実施することができなかったが、市内の大学(山大・東北文教大・芸工大)へは、それぞれに担当の方に付いていただき、コロナ禍明けにはすぐに声かけできるように準備を進めている。 | ベッドメイキング テント設置 炊飯活動 研修場での支援の在り方(講習) 各種クラフト研修 他 | 5月7日(土) ~8日(日) |
| II 小・中学生 | 7 | 第24回 わんぱくサマーキャンプ 1泊2日 | 小4~中3 20名程度 申込30名 | キャンプや自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを体感するとともに、友だちと協力することの大切さを感じ取る。 | キャンプやウォークラリー、表現活動、製作活動などをバランスよく仕組み、協働体験や自然体験の喜びを体感させることができた。やはり、宿泊することその醍醐味ということもあり、来年度は宿泊体験をさせたい。 | キャンプ・ナイトハイク 追跡ハイキング 退所ハイク 他 | 7月23日(土) 日帰り実施 ~24日(日) |
| | 8 | 第29回 わんぱくウインターキャンプ 一人一部屋泊とした 1泊2日 | 小4~中2 20名程度 申込9名 | 冬の自然体験を通して、自然の雄大さ・協力することの大切さを実感するとともに、門松作りなどの伝統文化のよさを味わう。 | 自然の家の施設やプログラムを活用した研修内容を設定し、自然の中で活動する喜びを体感させる。異学年の交流を大切に活動を展開することができた。しかし、一人一部屋に宿泊したこと、参加希望者は少なかった。 | 門松づくり 雪上運動会 他 | 12月24日(土) ~25日(日) |
| | 9 | 第36期 少年団 1泊2日 年7回 | 小4 36名程度 申込44名 | 年間7回の宿泊活動の中で、さまざまな自然体験や仲間との協働体験などを通して、心身ともにたくましく、自然を愛する子どもを育成する。 | 学校などでは経験できない体験活動を提供し、学校や学年のリーダーになれるように炊飯活動や宿泊棟での生活など、基本的な技能を身につけることができた。今年度はコロナウイルス感染防止対策上、活動の変更・中止・短縮が余儀なくされた。この活動の変更においても自然の家の環境を生かしながら、子どもの自主性を大切にした活動の企画・運営を考えた。また、そのための事前の準備もしっかりと行うことで急な変更にも対応しながら充実した活動につなげることができた。 | 18名ずつ 2日に分けて開催 36名全員参加 白鹿山WR・プラネ・運動広場野宿 他 ミステリーツアー・うどん打ち 他 3食炊飯活動(芋煮)・草木染め 他 ラング・自作ソリ 他 雪上運動会・文集・卒団式 他 | ① 6月4日(土)~5日(日) 日帰 ② 7月2日(土)~3日(日) 日帰 ③ 8月6日(土)~7日(日) 日帰 ④ 9月24日(土)~25日(日) 日帰 ⑤ 10月22日(土)~23日(日) 日帰 ⑥ 1月7日(土)~8日(日) 14人泊 3人日帰 ⑦ 2月25日(土)~26日(日) 13人泊 4人日 |
| | 10 | わくわくキッズキャンプ 1泊2日 年3回 | 小3・4 各20名程度 | 自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを体感するとともに、初めての会う職員や友達と交流する楽しさを味わう。 | 夏は全て日帰りの活動となっていたが、参加者の満足度は高いものとなった冬については、一人一部屋泊で、ようやく泊まりの活動を行うことができた。今後も活動の工夫をしながら、臨機応変にプログラムを組みこみに残る活動としていきたい。 | 夏 炊飯活動・東黒森山登山 キャンプファイヤー・いかだ 他 冬 ソリ滑り・チューブ滑り アイスクリーム作り・ラング 他 | ① 6月18日(土)~19日(日) 日帰 ② 6月25日(土)~26日(日) 日帰55人申込 ③ 2月4日(土)~5日(日) 20人申込 ※一人一部屋泊とした |
| III 親子 | 11 | 森の昆虫見つけ隊 3日間より選択 | 各回 小3~中3 までの親子 10組20名程度 申込40組 | 昆虫採集・標本作りを通して、豊かな自然環境を大切にしていこうとする気持ちを育てる。 | 今年度も3回行うことができた。昨年度の参加者を絞らざるを得なかったという経緯を踏まえて、一人ひとりに丁寧に対応することができた。また、10組弱の選外となってしまったことは、申し訳なく感じるところである。コロナ禍があけたら、申込者全員の参加を検討していきたい。 | 昆虫採集 昆虫標本づくり | ① 7月29日(金) ② 7月30日(土) ③ 7月31日(日) |
| | 12 | 親子 ふれあいハイキング 日帰り | 小1, 2年の親子 10組 申込33組 | 親子自然散策や調理などを通じて自然の豊かさを体感させるとともに、親子でのふれあいの機会をつくる。 | 自然体験活動や炊飯活動を通して、親子のコミュニケーションの活性化を図ることができた。保護者の中には、子どもの成長を感じたという感想も多かった。宿泊をなくし、日帰りとしたが申込みが多く、急遽回数を増やしたという経緯もあり、来年度も継続したい。 | 親子自然体験活動 親子炊飯活動 他 | 5月21日(土) 申込16組 5月28日(土) 申込17組 |
| | 13 | 親子そば打ち道場 —or— キャンプ飯 日帰り | 中3までの親子 15組 申込33組 | 親子での体験を通して、自然の家の役割についての理解を深め、自然に親しみ契機としていただく。 | Myそば猪口・My箸作りやそば打ちを通して、親子の絆を深めることをねらいとした。久しぶりの開催となり、申込者も多く来年度もこのような形で開催したい。 | 竹のそば猪口と竹箸づくり そば打ち講習 そば試食会 | 10月30日(日) |
| IV 一般市民 | 14 | 自然の家 秋祭り | 一般市民 200名程度 414名来場 | 市民に施設を広く開放し、様々な野外活動・文化活動などの機会を提供することにより、少年自然の家の機能や役割についての理解を深め、豊かな山形の自然環境保全について考える契機としていただく。 | コロナウイルス感染防止を考慮しながらの開催だったが、通常に近い形で行うことができた。今年度も山形の学生さんによる野外コンサートをしたこと、全て外で活動をしたことで多くの市民の参加を得ることができた。また、今年度も就労支援所「こんやく道場」の出店を依頼したことで、会場を盛り上げていただいた。 | 野外活動 (グランドゴルフ、製作体験 他) 文化活動 (プラネタリウム、各種クラフト 他) | 9月4日(日) |
| | 15 | 周辺の自然を味わう×季節 毎 | 一般市民 20名程度 | 同上 | 一般市民に、自然の家の施設や活動内容について理解していただくような体験活動の場を提供することができた。今年度は新たな取り組みが多く、高評価をいただいている。今後も新しい取組を検討していきたい。 | 自然の家周辺 | 春4月23日(土) 16人参加 秋10月1日(土) 25人参加 冬 令和5年1月28日(土) 29人参加 令和5年2月25日→1月21日 19人参加 |
| | 16 | 家族でキャンプ体験 | 一般市民 家族5組 | 一般市民にテント泊によるキャンプ体験を提供し、入門編として今後のキャンプ体験のきっかけとしていただく。 | 一般市民に、入門期の振橋沼キャンプ場での宿泊体験を提供することをねらいとして、初めての試みとなった。どの回も申込み多数でコースの高さがうかがえる。 | 振橋沼キャンプ場 | ① 6月18日(土)~19日(日) 18組申込 ② 6月25日(土)~26日(日) 13組申込 ③ 追10月8日(土)~9日(日) 12組申込 |
| | 17 | プラネタリウム一般公開 年3回 | 一般市民 10家族程度 | 一般市民を対象とした生涯学習を目的とし、プラネタリウム体験を通して、星空への興味や関心を高める。※2回目は、自然の家秋祭りの一つの活動として計画する。 | 世代的違いがあっても満足できるような上演に努める。また、山形大学名誉教授 柴田先生からのご協力をいただきながらの公開となったが、今年度はコロナウイルス感染防止対策の観点から自然の家スタッフと山形の演奏者とのコラボとなった。今後は小さな天文学者の会との協力体制の下、公開を行ってきたい。 | 1回目……春・夏の星座 2回目……夏・秋の星座 3回目……秋・冬の星座 | ① 5月22日(日) 延期→9/3 16組申込 ② -9月4日(日) 中止 ③ 10月29日(土) 午前+午後=85人 |
| | 追加 | 所長杯 モルック大会 | 一般市民 50人程度 | 外にでで身体を動かすがすがしさを体験していただく。 | 山形県モルック協会とこんやく道場と連携して初の開催となった。来年度も実施したい。 | 振橋沼キャンプ場 | 7月30日(土)と31日(日) 53人参加 |
| V 共催 | 18 | サービスセンター クラフトウィーク | 一般市民 | 一般市民を対象とし、自然に親しみとともに、気軽にクラフト体験ができるようにする。 | 自然物を用いて、気軽にクラフトの体験をしてもらい、来所の満足度を高めるねらいであったが、利用者の少ない日程となった。効果的な利用促進を考えたい。 | 自然物でクラフト体験 | 9月~11月の第三週 9/13~16 10/17~21 11/15~18 2人参加 |
| | 19 | 雪椿まつり 中止 | 一般市民 200名程度 | 雪椿の群生地として貴重な場所であることを広く知らせ、環境への関心を高める。 | 地元の方々に協力しながら、自然環境についての理解を深めていただく場とすることをねらいとしているが、3年連続の中止となっている。 | 武田先生、山田先生による説明 他 | 4月下旬頃 |
| VI 支援 | 20 | 山形大学 社会教育実習 | 山形大学 学生 18名 | 学校教育と社会教育の連携の在り方や子どもに対する支援の在り方について、実際の活動を通して理解を深めさせる。 | 講義や実技研修を中心とした基本実習と、主催事業の中で実際に子どもに対する支援の応用実習の関連を明らかにしながら指導にあたった。今年度は2名の日程が合わずに、別日開催とした。 | 基本実習 ・指導者に必要な支援を学ぶ講義 ・実技研修 他 応用実習 ・実際の支援の在り方を体験する研修 | 基本:8月16日(火) ~18日(木) 応用実習:各主催事業 10/7~9 二回目 |

令和4年度 月別利用状況

| 4年度 | 本館 | | | | | | 荒沼キャンプ場 | | | | | | 板橋沼キャンプ場 | | | | | | 野外活動センター | | | | | | 合計 | | | | | |
|------------------|-------|-------|------|------|-----|-------|---------|-----|------|------|-----|-----|----------|-------|------|------|-------|-------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|--------|
| | 小学校 | 中学校 | 子供会等 | 主催事業 | その他 | 小計 | 小学校 | 中学校 | 子供会等 | 主催事業 | その他 | 小計 | 小学校 | 中学校 | 子供会等 | 主催事業 | その他 | 小計 | 小学校 | 中学校 | 子供会等 | 主催事業 | その他 | 小計 | 小学校 | 中学校 | 子供会等 | 主催事業 | その他 | 小計 |
| 実 団 体 数 | 4月 | | | 1 | | 1 | | | | | 0 | | | | | 0 | | | 1 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | | | |
| | 5月 | 5 | 4 | | | 9 | | | | | 0 | | | 2 | | 2 | | 1 | | 1 | 2 | 5 | 5 | 0 | 2 | 1 | 13 | | | |
| | 6月 | 30 | | | 4 | 2 | 36 | | | | 0 | 11 | 1 | 4 | | 16 | 5 | | 2 | | 7 | 46 | 0 | 1 | 10 | 2 | 59 | | | |
| | 7月 | 16 | | | 3 | 12 | 31 | | | | 0 | 2 | | 2 | | 4 | 3 | | 3 | 4 | 10 | 21 | 0 | 0 | 8 | 16 | 45 | | | |
| | 8月 | | | | 2 | 6 | 8 | | | | 0 | | | 2 | | 2 | | | 1 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 5 | 8 | 13 | | | |
| | 9月 | 10 | | 1 | 2 | 1 | 14 | 1 | | | 1 | 2 | | 1 | | 3 | 12 | | 1 | 2 | 15 | 25 | 0 | 2 | 3 | 3 | 33 | | | |
| | 10月 | 3 | | | 4 | 5 | 12 | | | | 1 | 1 | | 1 | | 1 | 12 | | 1 | 1 | 14 | 15 | 0 | 0 | 6 | 7 | 28 | | | |
| | 11月 | | 1 | 1 | | | 2 | | | | | 0 | | | | 0 | 1 | | | 2 | 3 | 1 | 1 | 1 | 0 | 2 | 5 | | | |
| | 12月 | | | | 1 | | 1 | | | | | 0 | | | | 0 | | | | 1 | | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | 2 | | |
| | 1月 | | | | | | 0 | | | | | 0 | | | | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 2月 | | | | | | 0 | | | | | 0 | | | | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 3月 | | | | | | 0 | | | | | 0 | | | | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 合計 | 64 | 5 | 2 | 17 | 26 | 114 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 15 | 0 | 2 | 11 | 0 | 28 | 33 | 1 | 0 | 10 | 12 | 56 | 113 | 6 | 4 | 38 | 39 |
| 前年度比 | 64 | 3 | 3 | 16 | 25 | 111 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 18 | 0 | 0 | 8 | 0 | 26 | 27 | 1 | 0 | 8 | 8 | 44 | 110 | 4 | 3 | 32 | 33 | 182 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 109.9% | | | |
| 延 人 数 | 4月 | | | | 16 | | 16 | | | | 0 | | | | | 0 | | | 16 | 339 | 355 | 0 | 0 | 0 | 32 | 339 | 371 | | | |
| | 5月 | 239 | 531 | | | | 770 | | | | 0 | | | 44 | | 44 | | 57 | | 441 | 498 | 239 | 588 | 0 | 44 | 441 | 1,312 | | | |
| | 6月 | 3,280 | | | 74 | 65 | 3,419 | | | | 0 | 865 | 42 | 91 | | 998 | 283 | | 35 | 361 | 679 | 4,428 | 0 | 42 | 200 | 426 | 5,096 | | | |
| | 7月 | 1,740 | | | 59 | 535 | 2,334 | | | | 0 | 351 | | 53 | | 404 | 435 | | 71 | 656 | 1,162 | 2,526 | 0 | 0 | 183 | 1,191 | 3,900 | | | |
| | 8月 | | | | 81 | 297 | 378 | | | | 0 | | | 65 | | 65 | | | 16 | 518 | 534 | 0 | 0 | 0 | 162 | 815 | 977 | | | |
| | 9月 | 964 | | 62 | 62 | 36 | 1,124 | 3 | | | 3 | 228 | 62 | | | 290 | 807 | | 414 | 871 | 2,092 | 2,002 | 0 | 124 | 476 | 907 | 3,509 | | | |
| | 10月 | 473 | | | 162 | 128 | 763 | | | | 34 | 34 | | | 22 | 22 | 1,034 | | 18 | 455 | 1,507 | 1,507 | 0 | 0 | 202 | 617 | 2,326 | | | |
| | 11月 | | 218 | 46 | | | 264 | | | | | 0 | | | | 0 | 33 | | | 441 | 474 | 33 | 218 | 46 | 0 | 441 | 738 | | | |
| | 12月 | | | | 20 | | 20 | | | | | 0 | | | | 0 | | | | 10 | 213 | 223 | 0 | 0 | 0 | 30 | 213 | 243 | | |
| | 1月 | | | | | | 0 | | | | | 0 | | | | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 2月 | | | | | | 0 | | | | | 0 | | | | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 3月 | | | | | | 0 | | | | | 0 | | | | 0 | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 合計 | 6,696 | 749 | 108 | 474 | 1,061 | 9,088 | 3 | 0 | 0 | 0 | 34 | 37 | 1,444 | 0 | 104 | 275 | 0 | 1,823 | 2,592 | 57 | 0 | 580 | 4,295 | 7,524 | 10,735 | 806 | 212 | 1,329 | 5,390 |
| 前年度比 | 4,586 | 336 | 93 | 367 | 966 | 6,348 | 78 | 0 | 0 | 0 | 0 | 78 | 1,629 | 0 | 0 | 174 | 0 | 1,803 | 1,837 | 168 | 0 | 550 | 4,208 | 6,763 | 8,130 | 504 | 93 | 1,091 | 5,174 | 14,992 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 123.2% | | | |

施策
1-2

価値ある豊かな体験活動の充実

子どもの「社会を生き抜く力」として必要な基礎的な資質・能力を養うため、価値ある豊かな体験活動の充実を図る。

また、自然体験活動を通して、子どもたちが自ら学ぶ態度や社会の変化に対応できる総合的な生きる力が身につくように支援する。

■取組 1 発達段階に即した体験活動 【学校教育課】

(1) 魅力ある学校づくり推進事業

- ① 学校を支援するボランティア体制の充実を図る。
- ② 地域との連携の下、各学校が主体的に実施する体験活動等の充実を図る。

■取組 2 地域や関係機関と連携した体験活動 【学校教育課】

(1) 中2・はたらく体験推進事業

- ① 市立中学校2年生の職場体験学習の実施にあたって、学校と地域、企業、行政が一体となった取組になるよう支援する。
- ② マナーアップ講習会や職業人による講話などを開催し、一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育て、生徒のキャリア発達を促す。

■取組 3 少年自然の家における学校教育への支援 【少年自然の家】

(1) 利用する学校の主体的活動に対する支援

少年自然の家での活動は、校内生活ではなかなか経験できない体験が実践できる機会となる。自然に親しむこと、友達と生活を共にすることなど、利用する学校の宿泊学習のねらいが達成されるように活動を支援する立場として、学校のニーズに応じた指導の工夫・改善を行う。

① 研修プログラムへの支援

自然の家周辺の自然環境や施設を生かした研修活動を提供し、子どもにとってゆとりがあり満足感・達成感を得ることができるプログラムを展開できるように支援する。

② 指導者講習会及び事前打合せ会の充実

指導者を対象とした実技研修、リスクマネジメント等の指導者講習会を行うことで、指導への不安解消、危機管理意識を高め、子どもへの指導の充実や事故の予防を徹底する。

事前打合せ会では、各学校のねらいが達成できるプログラムになっているのかを検討し、子どもが主体的・協働的に学ぶことができるゆとりある研修プログラムになるよう助言する。

また、活動場所の確認や実際に活動を行うなど、指導者がより活動の見通しをもって子どもの指導を行っていくことができるように支援し、子どもが自ら学ぶ体験活動を目指す。

③ 指導資料の活用と整備

利用する学校が活用しやすいように、活動の目的がわかりやすい指導資料を整備し、ホームページ等を利用して資料や情報の提供を行うことで、研修プログラムの作成や手続き等の更なる利便性の向上を目指す。

④ バス利用への支援

小中学生の自然体験活動を推進し充実させていくために、山形市内の小中学校の利用に対して貸し切りバス代等の助成を行う。

施策
6-1

市内小中学生を対象とした自然体験活動を通して生きる力を育む自主事業の実施

豊かな心を育み、安らぎと潤いのある市民生活を支援するため、自然の中での活動やふれあいの場を提供していく。また、環境に関する情報提供を通して、市民が環境について学ぶ場を提供するとともに、次代を担う子どもたちに対する環境学習を実施する。

■取組1 子ども自身による体験学習の場の提供 【少年自然の家】

(1) 年間を通じた自然体験宿泊活動(第37期 少年団)

心身ともにたくましく、自然を愛する子どもを育成するため、「少年団」を結成し、年7回(一泊二日×7回)の継続した活動を行う。プロジェクトアドベンチャー、野外炊飯活動、白鷹山ウォークラリーなど、日常生活では経験できない自然体験活動を行い、自分で生活を創っていくために必要な基本的技能を身につけるとともに、集団生活を通してリーダーとしての資質を高めることも目的とする。

(2) 季節に応じた自然体験宿泊活動

児童生徒を対象に、夏にはテント泊、いかだアドベンチャー、また、冬には門松作り、雪上運動会など、その季節にしかできない自然宿泊体験活動を実施する。季節で変化する自然のすばらしさと厳しさにふれることにより、自然に対する畏敬の念を深めることを目指す。あわせて、初めて出会う仲間と協力することにより、人とのかかわりのよさを再認識することも目的とする。

① サマーキャンプ・ウィンターキャンプ(各1回)

市内小学4年生から中学生2年生までを対象に、季節に応じ冒険的要素を取り入れた宿泊体験活動を長期休業中に実施する。

② キッズキャンプ(夏×2回 冬×1回)

自然に対する興味関心を高めるとともに、人とのかかわりのよさを再認識することができるように、市内小学3、4年生を対象にした育成事業を年3回実施する。

■取組2 親子によるふれあいの場の提供の推進 【少年自然の家】

(1) 親子そば打ち道場

自然に親しみながら親子の絆を深めることができるように、自然の家周辺で取れた竹を使ってそば猪口や箸を作ったり、そば打ちを行ったりする。また、そば打ちの講師として地域人材を活用することにより、地域コミュニティの活性化を図る。

(2) 親子ふれあい自然体験(2回)

親子自然散策や焚火での調理などを通して、親子のコミュニケーションの活性化を図り、親子で自然の豊かさを体験する活動を行う。

親子での協働のもと子どもの自立を促すために、保護者へ「見守る姿勢」の重要性も伝えながら、活動を展開する。

■取組3 自然と共生する事業の充実 【少年自然の家】

(1) 野外活動センターにおける野草・昆虫標本・水生生物の展示や標本づくり体験

自然環境に対する認識を深め、環境保全への実践力を高めるため、野草や昆虫等の標本及び水生生物を展示する。また、年間3回にわたって、昆虫標本づくりを体験する「森の昆虫見つけ隊」を実施する。

(2) 施設一般開放

広く市民に自然の家の施設や活動内容について理解してもらい、自然に親しむきっかけとなるよう、施設を市民に開放し、野外活動・創作活動などの機会を提供する。また、野外活動センターにおいての市民の利活用が促進されるよう広報していく。

(3) プラネタリウムの一般公開 (3回)

天体への興味や関心を高めるために、市民を対象にしたプラネタリウムの一般公開を行う。あわせて、プラネタリウム後に実際の星空の観察や天体望遠鏡による観察を行い、星空への関心を更に高める。また、「小さな天文学者の会」と連携し、より専門的な知識を借りながら開催する。

(4) スキー場の一般開放

スキーやそりすべり、チューブすべりなど、積雪時の自然とのかかわりを体験し、自然環境への理解を深めるため、冬季に野外活動センター前のゲレンデを一般開放する。また、親子一緒に雪遊びを通し、親子の絆を深めるとともに保護者の方には童心に帰る楽しさを味わうことができる場の提供を目指す。

冬季の自然を楽しみ、動物の足跡や植物の冬芽などの環境を観察するため、自然の家周辺を散策するラングラウフスキーの貸出し（小中学生無料）も行う。

成果指標

| 目標名 | 現在値 | 目標値 | | | |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | R 4 | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 |
| 少年自然の家を利用する | 3 6 | 3 6 | 3 6 | 3 6 | 3 6 |
| 山形市立小・中学校数(校) | 4 | 6 | 8 | 1 2 | 1 5 |

施策
6-2

広く市民が「自然と人間の共生」について学ぶ環境整備の推進

安全・安心な施設の運営を図るとともに、自然環境の保全に配慮しながら施設・設備の活用を図る。

■取組 1 各種利用団体への支援 【少年自然の家】

子ども会等、自然の家を利用する各種団体の目的を明確にした体験活動を通して、子どもが自ら学ぶ態度や社会の変化に対応できる総合的な力を身につけることを目指し、活動を支援する立場として研修プログラムへの支援や指導の工夫・改善を行う。

(1) 研修プログラムへの支援

自然の家周辺の自然環境や施設を活かした研修活動を提供し、子どもにとってゆとりがあり満足感・達成感を得ることができるプログラムを展開していくことができるように支援する。

(2) 指導者講習会及び事前打合せ会の充実

指導者を対象とした実技研修、リスクマネジメント等の指導者講習会を行うことで、指導への不安解消、危機管理意識を高め、子どもへの指導の充実や事故の予防を徹底する。

事前打合せ会では、各団体のねらいが達成できるプログラムになっているのかを検討し、子どもが主体的・協働的に学ぶことができるゆとりある研修プログラムになるよう助言する。

また、活動場所の確認や実際に活動を行う等、指導者がより活動の見通しをもって子どもの指導を行っていくことができるように支援し、子どもが自ら学ぶ体験活動を目指す。

(3) 指導資料の活用と整備

利用する団体が活用しやすいように、活動の目的がわかりやすい指導資料を整備し、ホームページ等を利用して資料や情報の提供を行うことで、研修プログラムの作成や手続き等の更なる利便性の向上を目指す。

■取組 2 野外活動センターの事業の充実 【少年自然の家】

(1) 環境に関する情報提供

自然保護の意識を高めるために、野山に住む生き物の模型や自然の家周辺の動植物の写真などの掲示等を用いて、環境に関する情報を提供する。また、季節ごとに特徴的な動植物等の展示も行う。

(2) 野外活動の発信及び季節毎の周辺自然観察会の実施(4回)

少年自然の家の野外活動に対する興味や関心を高めるために、ホームページや所報等で情報の発信をする。また、季節に合わせて(春1回・秋1回・冬2回)市民対象の自然観察会を行い、周辺の自然の魅力を伝えていく。

(3) 市民へのキャンプ入門の場の提供(2回)

板橋沼キャンプ場の無料提供を実施し、入門期のキャンプ場利用の提供を行う。このことによって、広く市民に自然の家の活動内容や施設の機能の理解を促す。

(4) 相談機能の充実

利用者からの自然の家周辺の自然環境に関する問い合わせや、児童生徒の課題研究への相談に対応するため、野外活動センター職員を対象とした動植物等の自然環境に関する研修を実施する。

■取組3 社会貢献活動の推進 【少年自然の家】

(1) ボランティア・社会教育スタッフ育成事業

生涯学習や社会教育に関わる人材を育成するために、大学生(山形大学・東北文教大学・東北芸術工科大学等)を対象にしたボランティアの育成とともに、山形大学・東北芸術工科大学の社会教育実習への協力を行う。

自主事業で行う活動を実際に体験しながら、体験活動を通じた子どもの資質・能力や子どもへの指導・支援のポイントについて具体的に学ぶ。

■取組4 施設環境の整備の推進 【少年自然の家】

(1) 施設・設備の改修・安全管理

施設利用者が安心・安全に活動することができるようにするために、定期的な点検を行い、施設・設備の維持・改修・安全管理に努める。

(2) 環境保全

少年自然の家の環境保全とともに、広く市民が環境保全を推進するきっかけをつくるために、コンポストによる生ごみの処理や合成洗剤等の使用制限などを行う。

(3) コロナウィルス感染症に対応した施設の環境整備と活動の提供

コロナ禍の中にあっても、感染症のリスクをできる限り抑えて活動ができるような環境整備と、リスクを低く抑えた活動を確保する。感染症のレベルに応じた活動を提案し、できる限り受入体制を継続していく。

■取組5 職員研修の充実 【少年自然の家】

(1) 研修スタッフへの計画的な研修

充実した体験学習の推進のため、研修活動を適切に指導・支援することができるよう、研修スタッフ全員を対象にした計画的な職員研修を実施する。また、各事業及び各団体への支援におけるPDCA(計画・実施・評価・改善)のサイクルを日常的に行う。

(2) 危機管理及びリスクマネジメント研修の充実

安全管理の徹底とリスクマネジメントの充実を図るために、危機管理マニュアルの見直しや避難訓練、救急蘇生講習会の継続的な実施を行う。

(3) 積極的なモニター事業の実施と次年度への反映

新たな事業の運営・実施につながるようなモニター事業を積極的に実施し、次年度以降の主催事業へとつなげていくことができるようにする。

■取組6 課題等の検討 【少年自然の家】

(1) 山形市少年自然の家の今後のあり方の検討

昭和54年の開所以来43年が経過し施設設備の老朽化が進み、大規模な改修等が見込まれることや、コロナ禍並びに少子化が相まって利用者数が長期的に減少傾向にあること、そして、近年のキャンプブーム等を受けて様々な活動ができる場のニーズが高まっていること等の状況を踏まえ、学校教育中心の利用にとどまらない広範な利用の方策や、民間活力の活用も含めた持続可能な運営・事業展開について、有識者も交えた検討会を設置しながら幅広く検討する。

令和5年度 主催事業実施計画

山形市少年自然の家

| 対象 | No. | 主催事業名 | 募集人員 | ねらい | 方向性 | 主な内容 | 期日 |
|-------------|-----|------------------------------------|----------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| I 指導者 | 1 | 夏期利用指導者講習会 [小・中学校教員等] | 該当団体 | 各校の活動プランを、自然の家のねらい及び指導者や子どもの願いを反映したものにすることを、実技研修・育ちを実現するための活動と支援についての研修・リスクマネジメント研修を行い、指導者の資質向上をめざすとともに、利用団体間の利用調整を行う。 | 各校の「子どもが育つプログラム」をデザインする力を高めることを踏まえ、さらには若手教員が増えている実情にも配慮し、2部構成で実施する。 第1部(午前)は実技研修。第2部(午後)は必修とし、育ちを実現するための活動と支援やリスクマネジメント・手続き等を学ぶ研修及び各団体間の利用調整を実施する。参加する教員の負担軽減も考慮して第2部の開始時間を30分遅くする。また、冬期講習会については、実技研修の必要がないことから午後のみの実施とし、会場も市街地公民館等を利用する。 | 施設見学・実技研修(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント 利用調整・事務手続 | 4月14日(金) 1部 9:00~12:00 2部 14:00~17:00 |
| | 2 | 秋期利用指導者講習会 [小・中学校教員等] | 該当団体 | | | 施設見学・実技研修(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続 | 8月1日(火) 1部 9:00~13:00 2部 14:00~17:00 |
| | 3 | 冬期利用指導者講習会 [小・中学校教員] | 該当団体 | | | 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続 | 12月1日(金) 14:20~16:50 |
| | 4 | 利用指導者講習会 [子供会等] | 該当団体 | 施設見学や実技研修・研修プログラムについての研修を行い、指導者の資質向上をめざす。 | 団体のニーズに応じた講習会にするため、午前の部の実技研修と、午後の部の講話及び利用調整に分けて実施する。 | 施設見学・プログラム体験(選択) 子どもの育ちを実現する活動と支援 リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続 | 5月28日(日) 1部 9:00~13:00 2部 13:30~17:00 |
| | 5 | 冬期利用指導者講習会 [子供会等] | 該当団体 | | 冬の事故等の事例をもとに、リスクマネジメント研修を強化していく。 | 実技研修(選択) リスクマネジメント研修 利用調整・事務手続 | 各団体個別に実施 |
| | 6 | ボランティア スタッフセミナー 1泊2日 [学生・一般] | 大学生 大学院生 | 子ども理解を深め、各事業での具体的な活動を想定しながら研修することにより、ボランティアとしての資質向上を図る。 | 実際の体験活動を通して、児童の特性や価値ある体験活動にするための支援等を学び、ボランティアスタッフとしての仕事を理解することができる内容を設定する。 | ベッドメイキング テント設置 炊飯活動 研修場面ででの支援の在り方(講習) 各種クラフト研修 他 | 5月6日(土) ~7日(日) |
| II 小・中学生 | 7 | 第25回 わんぱくサマーキャンプ 1泊2日 | 小4~中3 20名程度 | キャンプや自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを実感するとともに、友だちと協力することの大切さを感じ取る。 | キャンプやウォークラリー、表現活動、製作活動などをバランスよく仕組み、協働体験や自然体験の喜びを体感させる。異学年の交流を大切に活動を展開する。 | キャンプ・ナイトハイク 追跡ハイキング 退所ハイク 他 | 7月22日(土) ~23日(日) |
| | 8 | 第30回 わんぱくウインターキャンプ 1泊2日 | 小4~中2 20名程度 | 冬の自然体験を通して、自然の雄大さ・協力することの大切さを実感するとともに、門松作りなどの伝統文化のよさを味わう。 | 自然の家の施設やプログラムを活用した研修内容を設定し、自然の中で活動する喜びを体感させる。異学年の交流を大切に活動を展開する。 | 門松作り 雪上運動会 他 | 12月23日(土) ~24日(日) |
| | 9 | 第37期 少年団 1泊2日 年7回 | 小4 36名程度 | 年間7回の宿泊活動の中で、さまざまな自然体験や仲間との協働体験などを通して、心身ともにたくましく、自然を愛する子どもを育成する。 | 学校などでは経験できない体験活動を提供し、学校や学年のリーダーになれるように炊飯活動や宿泊棟での生活など、基本的な技能を身につけることができるようにする。 また、苦労の中にも「夢や願い」をもつことができるような活動を吟味し、仲間と心で繋がりに乗り越えていく心地よさを主体的に行動する充実感を味わえるように支援する。 | プロジェクトアドベンチャー・ナイトハイク 他 キャンプ・炊飯活動・いかだ 他 白鷹山WR・プラネ・運動広場野宿 他 ミステリーツアー・うどん打ち 他 3食炊飯活動(芋煮)・草木染め 他 ラング・自作そり 他 雪上運動会・文集・卒団式 他 | ① 6月3日(土)~4日(日) ② 7月1日(土)~2日(日) ③ 8月5日(土)~6日(日) ④ 9月23日(土)~24日(日) ⑤ 10月21日(土)~22日(日) ⑥ 1月6日(土)~7日(日) ⑦ 2月24日(土)~25日(日) |
| | 10 | わくわくキッズキャンプ 1泊2日 年3回 | 小3・4 各20名程度 | 自然体験活動を通して、自然の素晴らしさを体感するとともに、初めて会う職員や友達と交流する楽しさを味わう。 | 学校等で経験できないプログラムを提供し、炊飯活動や宿泊棟での生活など基本的な技能を身につけることができるようにする。 | 夏 炊飯活動・東黒森山登山 キャンプファイヤー・いかだ 他 冬 そり滑り・チューブ滑り アイスクリーム作り・ラング 他 | ① 6月17日(土)~18日(日) ② 6月24日(土)~25日(日) ③ 2月3日(土)~4日(日) |
| | 11 | 森の昆虫見つけ隊 3日間より選択 | 小3~中3 までの親子 10組20名程度 | 昆虫採集・標本作りを通して、豊かな自然環境を大切にしていこうとする気持ちを育てる。 | 土日に実施し、親子で参加しやすいようにする。また、多くの参加者が見込まれる際には、複数の講師を招聘し、十分な対応ができるようにする。 | 昆虫採集 昆虫標本づくり | ① 7月28日(金) ② 7月29日(土) ③ 7月30日(日) |
| III 親子 | 12 | 親子 ふれあい自然体験 日帰り | 小1, 2年の親子 10組程度 | 親子自然散策や調理などを通して自然の豊かさを体感させるとともに、親子でのふれあいの機会をつくる。 | 自然体験活動や炊飯活動を通して、親子のコミュニケーションの活性化を図る。また、子どもの体験を豊かにするための「見守る姿勢」の重要性も伝えながら、活動を展開する。 | 親子自然体験活動 親子炊飯活動 他 | 5月20日(土) 5月27日(土) |
| | 13 | 親子そば打ち道場 日帰り | 中3までの 親子 15組程度 | 親子での体験を通して、自然の家の役割についての理解を深め、自然に親しむ契機としていただく。 | Myそば猪口・My箸作りやそば打ちを通して、親子の絆を深める。また、地域人材を活用し、地域に伝わる技術を継承する。 | 竹のそば猪口と竹箸づくり そば打ち講習 そば試食会 | 10月29日(日) |
| IV 一般市民 | 14 | 自然の家 秋祭り | 一般市民 200名程度 | 市民に施設を広く開放し、様々な野外活動・文化活動などの機会を提供することにより、少年自然の家の機能や役割についての理解を深め、豊かな山形の自然環境保全について考える契機としていただく。 | 一般市民に、自然の家の施設や活動内容について理解していただくような体験活動の場を提供する。また、人気のある特製芋煮を多めに用意し、多くの方々に喜んでいただけるようにする。 | 野外活動 (グランドゴルフ、製作体験 他) 文化活動 (プラネタリウム、各種クラフト 他) | 9月3日(日) |
| | 15 | 周辺の自然を味わう×季節毎 | 一般市民 20名程度 | 同上 | 一般市民に、自然の家の施設や活動内容について理解していただくような体験活動の場を提供する。 | 自然の家周辺 | 春4月22日(土) 秋10月1日(日) 冬 令和5年1月27日(土) 冬 令和5年2月24日(土) |
| | 16 | 家族でキャンプ体験 | 一般市民 家族5組 | 一般市民にテント泊によるキャンプ体験を提供し、入門編として今後のキャンプ体験のきっかけとしていただく。 | 一般市民に、入門編の板橋沼キャンプ場での宿泊体験を提供する。 | 板橋沼キャンプ場 | ① 6月17日(土)~18日(日) ② 6月24日(土)~25日(日) ③ 9月9日(土)~10日(日) |
| | 17 | プラネタリウム一般公開 年3回 | 一般市民 10家族程度 | 一般市民を対象とした生涯学習を目的とし、プラネタリウム体験を通して、星空への興味や関心を高める。※2回目は、自然の家秋祭りの一つの活動として計画する。 | 世代の違いがあっても満足できるような上演に努める。また、山形大学名誉教授 柴田先生からのご協力をいただきながらの公開となる。 | 1回目……春・夏の星座 2回目……夏・秋の星座 3回目……秋・冬の星座 | ① 5月21日(日) ② 9月3日(日) ③ 10月28日(土) |
| | 18 | 自然の家所長杯 モルック大会 | 一般市民 3名ずつ16組 | 老若男女問わず楽しめるスポーツをきっかけに外で楽しむ。 | 手入れされた芝の上で活動することで、自然に出ることの楽しさを感じてもらう。 | 3名一チームの対抗戦 | 7月30日(日) |
| | 19 | サービスセンター クラフトウィーク | 一般市民 | 一般市民を対象とし、自然に親しむとともに、気軽にクラフト体験ができるようにする。 | 自然物を用いて、気軽にクラフトの体験をしてもらい、来所の満足度を高める。 | 自然物でクラフト体験 | 9月~11月の第三週 9/12~15 10/16~20 11/14~17 |
| V 共催 | 20 | 雪椿まつり | 一般市民 200名程度 | 雪椿の群生地として貴重な場所であることを広く知らせ、環境への関心を高める。 | 地元の方々に協力しながら、自然環境についての理解を深めていただく場とする。 | 武田先生、山田先生による説明 他 | 4月下旬頃 |
| VI 支援 | 21 | 山形大学 社会教育実習 | 山形大学 学生 | 学校教育と社会教育の連携の在り方や子どもに対する支援の在り方について、実際の活動を通して理解を深めさせる。 | 講義や実技研修を中心とした基本実習と、主催事業の中で実際に子どもに支援する応用実習の関連を明らかにしながら指導にあたる。 | 基本実習 ・指導者に必要な支援を学ぶ講義 ・実技研修 他 応用実習 ・実際の支援の在り方を体験する研修 | 基本:8月15日(火) ~17日(木) 応用実習:各主催事業 |

令和5年度 利用団体予定一覧表(令和5年 2月 1日現在)

| 4 月 | | | | 5 月 | | | | 6 月 | | | | 7 月 | | | | 8 月 | | | | | | |
|-----|---|----------------------|--------------------|-----|----------------|---------|----|---------|----------|----|----------|---------|----|---------|----------|-----|--------------------------|------------|----|---------|----------|----|
| 日 | 曜 | 行事 | 本館 サービス センター | 曜 | 行事 | 荒沼キャンプ場 | 本館 | 板橋キャンプ場 | サービスセンター | 曜 | 行事 | 荒沼キャンプ場 | 本館 | 板橋キャンプ場 | サービスセンター | 曜 | 行事 | 荒沼キャンプ場 | 本館 | 板橋キャンプ場 | サービスセンター | 日 |
| 1 | 土 | 施設点検日 | | 月 | 施設点検日 | | | | | 1 | 少年団② | | | | | 1 | 指導者講習会(学校・幼保等) | | | | | 1 |
| 2 | 日 | 施設点検日 | | 火 | | | | | | 2 | | | | | | 2 | | | | | | 2 |
| 3 | 月 | 施設点検日 | | 水 | 産婦記念日 | | | | | 3 | 少年団① | | | | | 3 | 臨時開所日 | 竹田幼稚園39プラネ | | | | 3 |
| 4 | 火 | 施設点検日 | | 木 | みどりの日 | | | | | 4 | | | | | | 4 | 臨時開所日 | 千歳小 全426 | | | | 4 |
| 5 | 水 | 施設点検日 | | 金 | 子どもの日 | | | | | 5 | | | | | | 5 | 少年団③ | | | | | 5 |
| 6 | 木 | 施設点検日 | | 土 | ボランティアスタッフセミナー | | | | | 6 | | | | | | 6 | | | | | | 6 |
| 7 | 金 | 施設点検日 | | 日 | | | | | | 7 | | | | | | 7 | | | | | | 7 |
| 8 | 土 | 施設点検日 | | 月 | | | | | | 8 | | | | | | 8 | | | | | | 8 |
| 9 | 日 | 施設点検日 | | 火 | | | | | | 9 | | | | | | 9 | | | | | | 9 |
| 10 | 月 | 施設点検日 | | 水 | | | | | | 10 | | | | | | 10 | 臨時開所日 | さくらんぼ幼18 | | | | 10 |
| 11 | 火 | | | 木 | | | | | | 11 | | | | | | 11 | 山の日 | | | | | 11 |
| 12 | 水 | | | 金 | | | | | | 12 | | | | | | 12 | | | | | | 12 |
| 13 | 木 | | | 土 | | | | | | 13 | | | | | | 13 | | | | | | 13 |
| 14 | 金 | 指導者講習会(学校・幼保等) | | 日 | | | | | | 14 | | | | | | 14 | | | | | | 14 |
| 15 | 土 | 第3日曜日の前日 | | 月 | | | | | | 15 | | | | | | 15 | | | | | | 15 |
| 16 | 日 | フライングディスク 東北リーグ大会100 | | 火 | | | | | | 16 | | | | | | 16 | 第3日曜日 | | | | | 16 |
| 17 | 月 | | | 水 | | | | | | 17 | キッズキャンプ① | | | | | 17 | 海の日 | | | | | 17 |
| 18 | 火 | | | 木 | | | | | | 18 | | | | | | 18 | | | | | | 18 |
| 19 | 水 | | | 金 | | | | | | 19 | | | | | | 19 | | | | | | 19 |
| 20 | 木 | | | 土 | 親子ふれあい自然体験①本館 | | | | | 20 | | | | | | 20 | | | | | | 20 |
| 21 | 金 | | | 日 | プラネタリウム一般公開① | | | | | 21 | | | | | | 21 | | | | | | 21 |
| 22 | 土 | SC事業 春の周辺の自然を味わう | | 月 | | | | | | 22 | | | | | | 22 | サマーキャンプ | | | | | 22 |
| 23 | 日 | | | 火 | | | | | | 23 | | | | | | 23 | | | | | | 23 |
| 24 | 月 | | | 水 | | | | | | 24 | キッズキャンプ② | | | | | 24 | | | | | | 24 |
| 25 | 火 | | | 木 | | | | | | 25 | | | | | | 25 | | | | | | 25 |
| 26 | 水 | | | 金 | | | | | | 26 | 臨時開所日 | | | | | 26 | | | | | | 26 |
| 27 | 木 | | | 土 | 親子ふれあい自然体験②本館 | | | | | 27 | | | | | | 27 | | | | | | 27 |
| 28 | 金 | | | 日 | 指導者講習会(子ども会 他) | | | | | 28 | | | | | | 28 | SC事業 森の昆虫見つけ隊① | | | | | 28 |
| 29 | 土 | 昭和の日 | | 月 | | | | | | 29 | | | | | | 29 | SC事業 森の昆虫見つけ隊② | | | | | 29 |
| 30 | 日 | | | 火 | | | | | | 30 | | | | | | 30 | SC事業 森の昆虫見つけ隊③ 第二回モルック大会 | | | | | 30 |
| 31 | 月 | | | 水 | | | | | | 31 | | | | | | 31 | | | | | | 31 |

※※※※…は休館日。 ▲▲▲▲…は主催事業。「網掛け」のところは施設点検日。 以上の部分については、受け入れができませんので、ご理解の程よろしくお願ひします。

